

<2026年度（2年目）>

全事業期間における本年の位置付け		公共空間、空き家、空き店舗等の利活用や人材育成事業の内容を高めていき、まちに関心を持ち、関わってくれる人を増やしていく段階。公共空間の部分整備などソフト促進につながる事業をとおして、活動の機会を増やしていくとともに、集客イベントや蓄積のはじまったデータを活用した中心市街地の磨き上げを実施し、事業を定着させる。					
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2026年4月	2027年3月	2026年3月	当初	年 月		年 月	
交付対象事業経費		103,700千円					
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	6	計
							59,740千円
まちづくり人材育成事業					関連するKPI	①、②、③	
<p>○まちづくりの中心を担う人材を育成するためのプログラムを実施するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり人材に対する相談窓口業務委託料:500千円 (主な経費:人件費) ・官民連携によるセミナー、ワークショップ委託料:6,452千円 (主な経費:人件費、印刷費、講師報償費、消耗品費) ・インバウンド受入人材育成プログラム実施のための委託料:1,300千円 (主な経費:人件費、講師料、旅費) ・まちづくり人材育成セミナーに係る謝礼金:1,000千円 ・まちづくり人材に向けた活動支援補助金:1,500千円 <p>学生の団体が行う地域の課題解決及び地域活性化に資する調査・研究及び活動を行う事業に対し交付するもの (補助対象者:5人以上の学生(大学生、大学院生、短期大学生及び専門学校生)で構成される団体、補助対象経費:学生の活動に係る外部講師等への報償費及び旅費、郵便等の通信運搬費、事業に必要な消耗品費、印刷製本費、会場使用料、物品等のレンタル料、補助率:10/10、補助上限:100千円、補助件数:14件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり人材育成セミナー消耗品費:102千円 							10,854千円
官民連携した公共空間の利活用推進事業					関連するKPI	①	
<p>○公共空間を活用した企画に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共空間を活用したイベントの開催に係る委託料:1,100千円 (主な経費:人件費、消耗品費、開催イベント:駅前キッチンカーイベント(対象:観光客、ビジネス客、通勤・通学者)、高校生と協働した駅前広場イルミネーション企画) ・ポータルサイト作成、管理委託料:500千円 (主な経費:人件費、サーバー使用料) ・公共空間活用ガイドブック等印刷製本費:400千円 ・イベント等PR物品及びイベント資材 消耗品費:150千円 							2,150千円
空き家、空き店舗の利活用及び新規創業支援事業					関連するKPI	②、③	
<p>○空き家、空き店舗対策に係るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗活用促進のための委託料:2,500千円 (主な経費:人件費、印刷製本費、施設運営費) ・空き家、空き店舗の包括的なマッチング人材に係る人件費:4,438千円 ・空き家情報チラシ等印刷製本費:435千円 							7,373千円
中心市街地活性化イベント企画事業					関連するKPI	①	
<p>○中心市街地のPRのための集客イベント等を開催するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施委託料:10,970千円 (主な経費:人件費、材料費、企画調整費、開催イベント:地域の魅力発信プログラム(対象:子ども~大人)、まちなか観光プログラム(対象:外国人観光客)、子どもわくわくプログラム(対象:子ども)、ひと、まち高校文化祭プロジェクト(主催:高校生)、都市圏でのPRイベント(対象:対象:都市圏の居住者等)、既存のイベント(六斎市)を利用したまちなか体験等の参加型イベント) ・イベント講師謝礼金:793千円 (開催イベント:地元人材紹介・活用プロジェクト(対象:子ども~大人)、まちなか観光プログラム) ・SNSを活用したイベント情報発信投稿制作業務委託料:482千円 (主な経費:人件費、材料費、企画調整費) ・観光パンフレット改訂業務委託料:3,862千円 (主な経費:人件費、印刷製本費) 							16,107千円
拠点等活性化事業					関連するKPI	①、②、③	
<p>○使いやすさ向上のための施設、事業等の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地内の域学連携活性化事業委託料:2,000千円 (主な経費:人件費、印刷製本費、事業内容:中心市街地全体をフィールドとした域学連携による地域課題の解決のためのワークショップなどの推進を行うための事業の強化) ・観光案内窓口業務強化委託料:8,760千円 (主な経費:人件費、通信費、事業内容:観光案内窓口業務に加え、即時性のあるWEB、SNS等を活用し最新の情報を発信し、まちなか周遊を強化する) ・デジタルサイネージの運用委託料:1,500千円 (主な経費:人件費、使用料、事業内容:デジタルサイネージの有効活用(多言語対応、観光案内所の営業時間外での情報提供)による中心市街地周遊の促進をする) 							12,260千円
デジタルデータ収集分析事業					関連するKPI	①	
<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地内の人流動向把握のためのデータ取得、解析業務委託料:3,000千円 (主な経費:人件費) ・駅前活用および滞在機能整備に伴う人流、交通影響調査:6,996千円 (主な経費:人件費) ・観光データ収集分析業務委託料:1,000千円 							10,996千円

交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費		要素事業数	3	計	43,960千円
1	官民連携した公共空間の利活用推進事業	関連するKPI	①	32,160千円	<p>○駅前広場の民間活用、人流増加を促進するための整備(池の埋め立て、待合機能の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池の埋め立てによる広場の整備:15,000千円(主な経費:工事費) ・待合機能の整備:17,160千円(主な経費:工事費)
	空き家、空き店舗の利活用及び新規創業支援事業	関連するKPI	②、③		
3	拠点等活性化事業	関連するKPI	①	1,800千円	<p>○景観づくりに関する活動に対する支援</p> <p>中山道の街並みを維持・保全し、地域の景観活動を活性化させるため、地域団体の景観向上につながるような活動に対して支援するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観づくり補助金:1,800千円(補助対象者:景観重点区域内または沿道区域内の自治会等又は任意団体、補助対象経費:有識者謝礼金、印刷費、資材費、消耗品費、通信費、資料費、保険料、使用料、補助率:10/10以内、補助上限:400千円、補助件数:6件) <p>※地域団体による景観向上の取組みとして、花壇設置や草花の植栽、統一的なれん作成などの修景活動、景観に関するイベント活動、景観の向上に資するようなベンチ等の設置などの活動を支援する。</p>
	経費内訳変更の理由(事業の見直しを踏まえて、変更する理由を具体的に記載)				
<p>○空き家、空き店舗の利活用及び新規創業支援事業【追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗活用促進のための委託料:2,500千円 <p>(変更理由)駅前広場でのキッチンカーやマルシェなどのイベントを実施し、事業者、商工団体、まちづくり会社等の多様な主体が参画してきた。これらの取組みを通じ、中心市街地での出店に関心を持つ事業者は一定数いる一方、実際に出店した場合のイメージや運用感が分からず出店に踏み込めないとの意見や、市内にそうした試験的な実践の場(チャレンジショップ等)がないとの意見が共有された。</p> <p>こうした評価を踏まえ、試行的な出店(お試し実証)ができる拠点を設置し、従来の空き家・空き店舗の包括的なマッチング支援を発展させ、まちなか創業・活用促進事業として再構築するものである。拠点の設置運営等をまちづくり会社等へ委託し、中心市街地の空き店舗について、立地や設備等を整理したりリストを作成・一元管理するとともに、実証結果を踏まえた具体的な利活用提案やマッチング支援を行い、空き店舗の解消と商店街の活性化を図る。</p> <p>○中心市街地活性化イベント企画事業【1,170千円増額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施委託料:10,970千円 <p>追加事業:既存のイベント(六斎市)を利用したまちなか体験等の参加型イベント</p> <p>(変更理由)長年親しまれてきた「六斎市」を利用し、新たに地域プレイヤーと協働で「まちなかでの体験や交流」をテーマにした参加型イベントを行う。飲食・販売に偏らず、参加・体験を通じて、人とまちがにつながる仕組みを育て、商店街を舞台に持続的ににぎわいを創出する。</p> <p>○デジタルデータ収集分析事業【追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前活用および滞在機能整備に伴う人流、交通影響調査:6,996千円(主な経費:人件費) <p>(変更理由)</p> <p>現在、公共空間活用促進により民間による駅前広場を活用したイベント等が増加している。また、R8年度にはJR東海による中津川駅既設待合の改修計画や、市施設老朽化に伴う新たな待合機能整備が計画されており、官民連携によって駅周辺の環境が変化することが想定される。</p> <p>こうしたことから、居心地のいい駅前空間整備効果とそれに伴う人流や各種交通(自家用車、バス等)への影響を調査し、「まちの玄関・ロビー」として居心地が良く、かつ機能的な駅前空間となっているかの効果検証を行うとともに、人の流れを中心市街地にみちびくための、さらなる施策検討をするための調査を行う。</p> <p>○官民連携した公共空間の利活用推進事業【31,860千円増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の民間活用を促進するための整備(池の埋め立て、待合機能の整備) <p>駅前広場整備費:32,160千円</p> <p>(変更理由)</p> <p>当初は、イベント等を開催するにあつて、イベントの主催者や出店者にとって利便性の良い広場とし、駅前空間の利活用を促進させるため、電源設備等の設置などの部分整備を予定していた。令和7年度の事業を実施していく中で、イベントの出店者等のまちづくり人材から飲食スペースや出店スペースが不足しているという意見をいただいたため、さらなる公共空間の利活用促進に係る駅前空間の整備を行う。</p> <p>〈池の埋め立て〉</p> <p>駅前広場については官民連携による駅前キッチンカー事業により、毎週安定的に民間による活用がなされるようになった。また、令和7年8月には2度の駅前ビアガーデンイベントを官民連携で実施し、多くの集客と高い満足度を記録し、駅周辺のにぎわい形成につながっている。</p> <p>一方、本事業で実施したキッチンカー事業やビアガーデンのアンケート調査や、外部有識者が参画する事業検証委員会において、駅前広場を活用したイベント実施の際の飲食スペースの不足や手狭さが課題としてあげられており、駅前空間での滞在快適性、活用機能向上に向けた整備の必要性が生じている。</p> <p>また、市で別途予定している駅前の公共施設「中津川市にぎわいプラザ」の老朽化による閉鎖が予定されており、機能移転等に伴って駅前広場の通過交通量が増加することが予想される。</p> <p>こうしたことから、駅前広場内にある池を埋め立てフラットで活用しやすい空間を整備することで、交通量の増加やキッチンカー事業、イベント等に対応したより使いやすく、快適な駅前空間を形成し、駅周辺での関連事業と相乗効果を生み出すことで多くの人が訪れ滞在する中津川駅前を形成する。</p> <p>〈待合機能の整備〉</p> <p>老朽施設(にぎわいプラザ)の用途廃止により、観光客等の利用者が屋外での待機を余儀なくされ、人流減少に伴う中心市街地のにぎわいの低下が課題となっている。また、当市の中心市街地は、市内の観光地への通過点となっており、中心市街地の魅力に気づかないままスルーしてしまうのが現状である。「地域の多様な主体の参画」の一つである「地域ラボ・中津川」・「岐阜大学」と当市の連携事業において、中津川駅前のにぎわい創出のためには、待合機能の整備が必要であるという提案を受けている。</p> <p>その中で、駅前空間を「まちの玄関・ロビー」として再生し、居心地のよい公共空間を形成し、一度立ち止まって、中心市街地内に足を向けていただくことで、人の流れを中心市街地内へ導くための拠点として整備を行う。</p> <p>JR東海が計画している中津川駅構内の待合室の改修計画と連携し、待合・案内・販売機能を複合化できる仕組みをつくる。待合・案内・販売機能を複合化することで、駅前エリアに新たな商業・観光需要を生み出し、地元事業者との連携による雇用創出・所得増加を図る。また、待合施設内に中心市街地の魅力PRするためのブースを設けることで、「ついでに寄ってみよう」という意識が醸成され、通過型から滞在型へ転換し、情報のハブとしての機能を持たせることができる。</p>					